

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

第90回島根県中央メーデー開催 働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう！



デモの先頭に立つ中林よし子予定候補

中林よし子参院鳥取・島根選挙区 予定候補がデモの先頭に！

5月1日、「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメインスローガンに、第90回島根県中央メーデーが県民会館を会場に開催され、40団体450名が集いました。

まず、村上実行委員長が「今日は労働者の団結と国際連帯の日。力を合わせ、政治を変えよう。」と開会あいさつを行いました。その後、参加団体から、それぞれ工夫を凝らしたデモレシーションアピールがあり、最優秀賞には、島根県教職員組合が輝きました。

続いて、新日本婦人の会から、知事選で唯一原発ゼロを訴えて奮闘した山崎やす子氏が、「たたかいはこれから。力を合わせて原発をなくそう。」と訴え、共産党島根県委員会からは中林よし子参院選予定候補が「参院選32の一人区で勝利し、安倍政権を倒そう。」と呼びかけました。

と呼びかけるメーデー宣言を採択し集会は終了。その後、参加者は、市内パレードに

ナースウエーブに

市議団も参加



医療・介護の充実を訴える尾村県議

10日、松江駅前前で島根県医労連が主催するナースウエーブの集会が開かれました。「安心安全な医療介護の実現」などのプラカードを掲げた医療従事者約80名が集まる中、五百川・白石・尾村県議が挨拶。尾村県議は、「憲法と地方自治法が生かされる医療・介護の充実を訴えました。松江市議団も尾村・大國県議と共に参加しました。」

市議会臨時会開かれる

5月10日、松江市議会臨時会が開かれ、任期後半2年を担う、議長、各役職や常任委員会、特別委員会、各審議会等の構成が決まりました。

議長、副議長、常任委員長などは選挙となりました。議長は、松政クの森脇幸好氏が22票、真政クの南波巖氏が9票、共産党の橘祥朗氏が3票で、森脇氏が議長に、副議長には、野津照雄氏が22票、市民クの川井弘光氏が9票、共産党の吉儀敬子氏が3票で、野津氏が副議長に選出されました。共産党市議団は次のような所属となりました。

参院選鳥取・島根選挙区予定候補 中林よし子さんに期待する②

中海・宍道湖の干拓淡水化問題は、当時、長谷川仁県議が「干拓淡水化事業は、水質を悪化させる」と絶えず県議会に取り上げ、中止を求めていました。

この問題が、中林よし子衆院議員によって国会で取り上げられ、慌てた国は、昭和58年「淡水化しても水質は変わらない」という農業土木会の研究報告書を発表。

しかし、島根大学の保母武彦(当時助教授)氏・竹下幹夫(当時県職員)氏によってこの報告書がデータラメであることが明らかになり、宍道湖漁協を中心に大規模な反対運動が拡がり、ついに中海・宍道湖の干拓・淡水化事業は中止になりました。

その頃、長崎県でも諫早湾干拓を始めようとしていたので不思議に思い、干拓事務所の職員に尋ね

たところ、職員曰く「業者に仕事をさせないといけないので」との回答でした。国は、国民のための政治ではなく、業者のための政治をしているのは今も同じだ。

諫早湾干拓によって、有明海の海藻は大被害を受けましたが、淡水化を中止した宍道湖の蜆漁は健在です。

田中肇市議は総務委員会、島根原子力発電対策特別委員会と新庁舎建設特別委員会に所属。

吉儀敬子市議は経済委員会、まちづくり対策特別委員会、議会広報委員会に所属となりました。

(元東出雲町議会議員 一瀬徳信さん)